香教連新聞　第４４９号　2016年（平成28年）　11月10日発行　（発行の定日 毎月10日発行）　平成4年7月24日第3種郵便物認可（1）

要望無くして成果無し！

関係各省庁へ！

全日教連は十月十七日、文科省・財務省・総務省・厚生労働省の四省に、また十一月七日、八日には国会議員に対して「文教関係施策及び関連予算に関する要望」等を行った。香教連からは矢代委員長、安本事務局長が参加し、学校現場の多忙化の現状や地方の教育環境の格差等について話し、文教予算の拡充を強く訴えた。

主な要望内容は以下の通りである。（一部抜粋）

要望の様子

文部科学省

文部科学省

○子供たちへより質の高い教育を継続していくために、今日的な教育諸課題へ適切な対応を可能にするために、義務標準法改正を伴う基礎定数及び加配定数の拡充を確実に図ること

○小学校英語の実施に当たり専科教員の配置、授業時間の確保等について学校現場の事態を踏まえ、現実的で効果的な体制整備を図ること

財務省

財務省

○教育の質の更なる向上と多様化・複雑化・困難化した教育諸課題への適切な対応を可能とする定数及び加配定数の充実による教職員の計画的、安定的な配置に必要な予算措置を講じること

総務省

総務省

○教員の勤務の特殊性を鑑み、適正な教職調整額を支給すること

○深刻な地域間格差を解消し、教育の機会均等と教育水準の維持向上につながるよう地方交付税交付金として一般財源化している教材費・図書費を特定財源化し、義務教育に係る費用を全額国庫負担とすること

厚生労働省

厚生労働省

○精神疾患による休職者数が減少するように、文部科学省と連携し学校規模にかかわらず、教職員の職場環境の改善を図るとともに、実効性のあるメンタルヘルス対策を推進すること

国会議員へ！

要望を伝える矢代委員長

○子供たちに対し、安定的、継続的に質の高い教育を行い、今日的な教育課題への適切な対応を可能にするために義務標準法の改正を伴う基礎定数及び加配定数の拡充を図ること

○教員の勤務の特殊性を鑑み、適正な教職調整額となるよう見直すこと

○次期学習指導要領で小学校英語の実施に当たり、専科教員の配置、授業時間の確保等について学校現場の実態を踏まえ、現実的で効果的な体制整備を図ること

香教連として

要望書を渡す矢代委員長

香教連は、来年度に向けて十一月九日、香川県教育委員会に対し予算交渉を行った。

要望事項は「校務支援員の増配置」、「英語担当教員の配置の検討」、「指導教諭の増配置」、「養護教諭の複数配置」、「通級指導教室の増設及び中学校への拡充」等である。十一月二十二日には知事要望、議長要望を実施する。

香川の子供たちのために、現場の声をしっかりと届けてくる所存である。

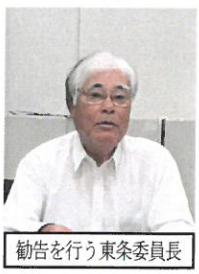
香川県教職員連盟機関誌
発行所：香川県教職員連盟
発行者：矢代　浩己

〒760-0004
高松市西宝町２丁目４番６０号
香川県教育会館６０２号
TEL (087) 835-2721
FAX (087) 835-2723
http://www.kakyoren.com/
E-mail:info@kakyoren.com

毎月10日発行　定価１部50円
（年間1,000円　送料とも）
会員の購読費は会費の中に含む

香川県教職員連盟は、結成四十二年を迎えた子供中心の教育を目指し、健全なる批判力を持つ、県内最大の教職員団体です。

香川県人事委員会より勧告
三年連続の月給・ボーナス引上げは二十五年ぶり


勧告を行う東条委員長

香川県人事委員会は十月十三日、香川県知事、香川県議会議長に対して「平成二十八年、職員の給与等に関する報告と勧告」を行った。本年の給与勧告のポイントは以下の通りである。

本年の民間給与との格差に基づく給与改定

①民間給与との格差（〇・一三％）を埋めるため給料表の水準の引上げ

・行政職給与表については本年の民間給与との格差の大きさ及び民間の初任給を中心とする若年層の状況等を踏まえ、人事院勧告における俸給表に準じて若年層に重点を置きながら引上げ改定を行う。

②期末・勤勉手当の引上げ（〇・一月分）

・年間支給月数を引上げ
四・二〇月分　→　四・三〇月分

・給与改定の実施時期
平成二十八年四月一日。
但し、期末・勤勉手当については平成二十八年十二月一日

給与制度の総合的見直し

①給与制度の総合的見直し
（県内の地域手当の支給割合の引上げ　平成二十九年度より）
二・六％　→　二・九％

②扶養手当の見直し

・配偶者に係る手当額を段階的に減額し、子に係る手当額を引き上げる。

全日教連専門部会開催

養護教員部（白川養護教諭）

十月十六日、平成二十八年度全日教連第二回専門部会が開催された。香教連からは矢代委員長、養護教員部に白川未来女性教職員部には別所淳子教諭、養護教諭（坂出市立加茂小学校）、（高松市立川添小学校）幼児教育部には、安富慶幸教諭（前田幼稚園）・中川欣子教諭（川添幼稚園）の五名が参加した。開会行事の後、岩野伸哉・全日教連委員長より、全日教連の組織理解について講話があった。全日教連の歴史や他団体との相違点、組織の必要性について熱く語られた。続いて八つの部会に分かれ、各部会ごとに来年度の議案書の検討、要望内容の検討、平成二十九年度の活動計画の確認がなされた。

幼児教育部（安富教諭）

幼児教育部（中川教諭）

女性教職員部（別所教諭）

メトロ〜ム

九月に単組を通してお願いしました文教予算の確保等に関する署名へのご協力ありがとうございました。

署名は、枚数にして五五九枚、人数にして二七九五名もの署名が集まりました。皆様からお預かりした署名は、香川県議会議長に十一月二十二日の県議会要望の際に届けさせていただきます。（や）

第四回会長・事務局長会議開催

十月二十二日（土）九時三十分より、香川県教育会館二階会議室にて、第四回会長・事務局長会議を開催した。この会は第二回執行委員会、第一回人事対策委員会とも併設され、各単組より多くの方に集まっていただいた。

挨拶する矢代委員長

議事では、知事や香川県議会への要望内容について活発な意見が交わされた。香教連事務局では、現場の様子や状況を踏まえ、今後もしっかりと先生方の声をお届けし、要望に活かしていきたいと考えている。

最後に行われた人事対策委員会では、人事異動希望を把握するための会員票について確認した。今年度も会員のみなさんの人事への希望を教育委員会や教育事務所等にしっかりとお伝えする。

そのためにも十一月に各単組より配布される会員票の提出をよろしくお願いしたい。

会議の様子

第二回教育関係七団体懇談会開催

十月十九日（水）十五時より、香川県教育会館第三会議室にて、第二回教育関係七団体懇談会を開催した。

会議には、香川県退職校長会、香川県教育県民会議、公益社団法人香川県教育会、香川県小・中学校管理職協議会、香川県ＰＴＡ連絡協議会、香川県教育文化研究所、香川県教職員連盟から十一名の参加があり、七月に行った会議の経過報告とともに香川県の今日的教育課題について意見交換を行った。

「チーム学校」の在り方や香川型教育の現状等が話題として挙がり、課題解決に向け、熱心な意見が交わされた。

子供たちのために何ができるか、何をしていくべきかという視点で話し合いが行われた。

この懇談会で出された意見をまとめ、今月二十二日に行われる香川県議会への要望の際に要望書をお渡しする予定である。

懇談会の様子

鳴門分会交流会開催

十月三十一日（月）十八時三十分より、徳島県鳴門市において、香教連鳴門分会と徳島県教職員団体連合会（徳教団）との交流会を開催した。

この会は香教連会員の方で、鳴門教育大学大学院に内地留学されている先生方をサポートしようと、情報交換や近況報告を毎年二回程度開催している。今年度は、今回が初めての交流会となったが、香教連から一名、徳教団から三名の先生をお招きし、先生方の研究されているテーマや研究実践の様子等をお聞きした。

また大学院での様子を聞くだけでなく、お互いに県の教育情勢等も知ることもでき、非常に有意義な会となった。

先生方には、これからも子供たちのために研究実践を重ねていただけたらと思っている。そういった先生方を、香教連はこれからもサポートしていくので、今後ともよろしくお願いしたい。

交流会の様子

東京往来草

全日本教職員連盟
事務局次長　井上　真登

毎日、国会関連のニュースが報じられていますが国会周辺についてはあまり知られていません。今回は国会議員会館の話を。

事務局では、年に数回程、国会議員への要望活動を行っています。先日は、第十次の要請行動で文教関係予算の充実と教育制度について八十七名の議員の方々へ要望活動を行いました。

国会議員の事務所は全て、国会議事堂の西側にある議員会館にあります。会館は三棟あって、参議院側から衆議院第一、参議院第二、衆議院第一（さんぎいんだいいち）の順番で並んでいます。会館自体の作りは三棟ともよく似ています。

十二階建で、各階に二十二、四人ずつの議員事務所があります。受付、パーテーションの有無や少し広いトイレの位置、温度等、ところどころで違いがあります。更に会館は地下にも売店やコーヒーショップ、食堂があり、中に入れば利用することができます。

議員会館への入り方は、入口ゲートを通過できるカードを貰います。多くの方が少し気の毒にはなりますが：。面会室、受付の方に全ての荷物チェックを受けます。

面会申込書を何十枚とお渡しするので、会う場合には、あらかじめ議員事務所に連絡をしていただくのがマナーです。

面会申込書に、受付担当の事務所に連絡をとってもらい、入口ゲートのお名前を書き込み、面会の後、それぞれの事務所に渡します。

ここでそれぞれの事務所の秘書の方々の対応が変わってきます。

ある議員事務所では、金属探知機のゲートをくぐり検査があり、用件等を書き込み、受付担当の方に渡します。

ここで、ある議員事務所では、入口